

■ 共同研究班の概要 Summary of the Joint Research Group

班	基盤研究班（C班）
Group Category	Type C Research Projects(Basic Research Projects)
設置期間	2023年4月～2026年3月
Period of Activity	April 2023 – March 2026
研究課題名	高度経済成長期の生活史
Research Topic	Life history during high economic growth period
研究目的の概要 (400字程度)	本研究班では、「暮らしの手帖社」に所蔵されている文字史料と視覚史料を分析することで、高度経済成長期日本の生活や文化について考えていきたい。近世以来続いていた暮らしのあり方は、急激な都市化とモータリゼーション、テレビの登場、さらには石油産業の発達でダイナミックに変化した。暮らしの手帖社には、台所、トイレ、お茶の間など、高度経済成長期の人々の暮らしがわかる写真や原稿が多数存在している。また、全国から集めた戦争の記録も多数残存しており、それらは経済成長期にどのように戦争体験が受け継がれ、あるいは、忘却されていくかについての貴重な史料とも言える。これらはすべて、雑誌『暮らしの手帖』を率いた花森安治やスタッフが取材したものである。これらの史料の整理にあたった暮らしの手帖社のスタッフにも加わってもらい、研究会を進めていきたい。
Summary of Objectives (Approx. 400 characters)	In this joint research group, we consider life and culture in Japan during the country's period of high economic growth by analyzing written and visual historical materials in the collection of the publishing company Kurashi no Techo Co. Ltd. The way of life that emerged from the early modern period changed dynamically with rapid urbanization and motorization, the advent of television, and the development of the oil industry. Kurashi no Techo Co. Ltd. has many photographs and manuscripts that show how Japanese people lived during this period, including materials on kitchens, toilets, and living rooms. Furthermore, there are many war records collected by the staff of the publishing company, which are valuable historical sources on how the experience of war was passed on or forgotten during the period of high economic growth.
研究会開催予定等	年10回 月 13:30-17:00
Planned Meetings, etc.	10 Times / Year, Monday 13:30 – 17:00

■ 班員名簿 Member List

最終更新日：2025年6月6日
Last Update：June 6, 2025

No	班長・副班長	氏 名	区分	所属 ・ 職名	専門分野	共同研究における役割分担 (30字程度)
No	Coordinator / Deputy Coordinator(s)	Name	Category	Affiliation / Position	Field of specialization	Division of Roles within the Group (Approx. 30 characters)
1	班長	藤原 辰史	所内	・教授	農業史	研究会の統括、農業と食の検討
2		岩城 卓二	所内	・教授	近世日本史	日本近世史と高度経済成長期の比較
3		酒井 朋子	所内	・准教授	文化人類学	日本高度経済成長期の生活史
4		石井 美保	所内	・教授	文化人類学	日本高度経済成長期の人類的分析
5		小堀 聡	所内	・准教授	日本経済史	経済史的観点から見た高度経済成長期
6		福家 崇洋	所内	・准教授	日本思想史	思想史的観点から見た高度経済成長期
7		瀬戸口 明久	所内	・教授	科学史	科学と技術の発展
8		菅原 百合絵	所内	・准教授	フランス文学・ 思想	花森安治の思想分析
9		須永 哲思	所内	・准教授	近代日本教育史	高度経済成長期の教育史

№	班長・副班長	氏 名	区分	所属 ・ 職名	専門分野	共同研究における役割分担 (30字程度)
№	Coordinator / Deputy Coordinator(s)	Name	Category	Affiliation / Position	Field of specialization	Division of Roles within the Group (Approx. 30 characters)
10		李 英美	所内	・助教	戦後アジア史	高度経済成長期の出入国管理
11		小関 隆	所内	・教授	イギリス・アイ ルランド近現代 史	高度経済成長期の政治史
12		池田 巧	所内	・教授	シナ・チベット 語方言史	『暮らしの手帖』読者の調査研究
13		森谷 理紗	所内	・特定准教授	芸術実践論、音 楽学	戦争中の暮らしの記録についての研究
14		太田 知宏	所内	・特定助教	日本近代史	商品テストについての研究
15		久保 旭	所内	・特定助教	情報学	暮らしの手帖資料のデータ分析
16		岩島 史	学内（法人 内）	経済学研究科・講師	農業経済学	戦後日本農村とジェンダー
17		喜多 千草	学内（法人 内）	文学研究科・教授	科学技術社会論	暮らしの手帖の技術観
18		青木 聡子	国立大学	東北大学文学部・准教授	環境社会学	環境問題と高度経済成長
19		西川 晃弘	国立大学	大阪大学・大学院生	科学史	商品テスト研究
20		西川 和樹	私立大学	同志社大学・次世代研究者	料理史	暮らしの手帖における料理の分析
21		会田 綾子	民間機関	暮らしの手帖社・広報担当	暮らしの手帖全般	暮らしの手帖資料の整理と分析
22		難波 達巳	民間機関	暮らしの手帖社・資料係	暮らしの手帖全般	暮らしの手帖資料の整理と分析
23		上野 小麻里	民間機関	島根県立美術館・学芸員	教育普及・彫刻	『暮らしの手帖』展の理論